複利とは？若い内から貯金をするべき

複利とは、利子に付く利子と言う意味です。

例えば、１００万円を０．４％の利子で１０年間、銀行に預けた時、約４００万円になって帰って来るわけですが、細かい計算は忘れて、利子の上に利子が付くと言う過程を長期間、繰り返すと大きな額になると言う事です。

「若い内から貯金しろ！」とどやされる事があると思いますが、結局は複利、若い内から貯金をしたら、老体になった時にはその貯金はそこそこの額になっているからなのです。

それは、まるで雪山のテッペンからゆっくりと転がり落ちた雪玉が、次第に勢いを付け、他の雪を巻き込んでその大きさを増して、殺人的な雪崩に化した状態のように。

そして、複利と言う現象は本を読む事や勉強する事にも通じます。知識の上に付く知識、最初はゆっくりですが、次第に多くの事をより早く理解したり、多くの事が」頭の中で繋がると言う感覚が芽生えるようになるでしょう。

だから、何をするにも早い方が良いわけで、「今でしょ！」と言うマントラを念頭に置いてあらゆる物事を行動に移すべきなのかもしれません。